

問2 ソフトウェア製品の品質特性に関する次の記述を読んで、設間に答えよ。

JIS X 0129-1では、ソフトウェア製品の品質について、表1に示す六つの品質特性を定めている。

表1 六つの品質特性（JIS X 0129-1）

品質特性	ソフトウェア製品の能力の概要	品質副特性（一部）
機能性	指定された条件下で利用されるとき、明示的及び暗示的必要性に合致する機能を提供する。	合目的性、正確性、セキュリティ、相互運用性
使用性	指定された条件下で利用するとき、理解、習得、利用でき、利用者にとって魅力的である。	運用性、習得性、魅力性、理解性
信頼性	指定された条件下で利用するとき、指定された達成水準を維持する。	回復性、障害許容性、成熟性
効率性	明示的な条件下で、使用する資源の量に対比して適切な性能を提供する。	時間効率性、資源効率性
保守性	修正のしやすさ	安定性、解析性、試験性、変更性
移植性	ある環境から他の環境に移すことができる。	環境適応性、共存性、設置性、置換性

これらの品質特性のうち、コーディングの段階では、信頼性、効率性、保守性、移植性を考慮することが大切である。

あるソフトウェア開発会社では、開発するソフトウェア製品の品質向上を図るために、品質特性を考慮したプログラム開発の社内標準を制定し、作成したプログラムのコードレビュ体制を確立した。

表2は、最近のコードレビューで新人のプログラム開発担当者が受けた指摘の例である。

表2 新人のプログラム開発担当者が受けた指摘の例

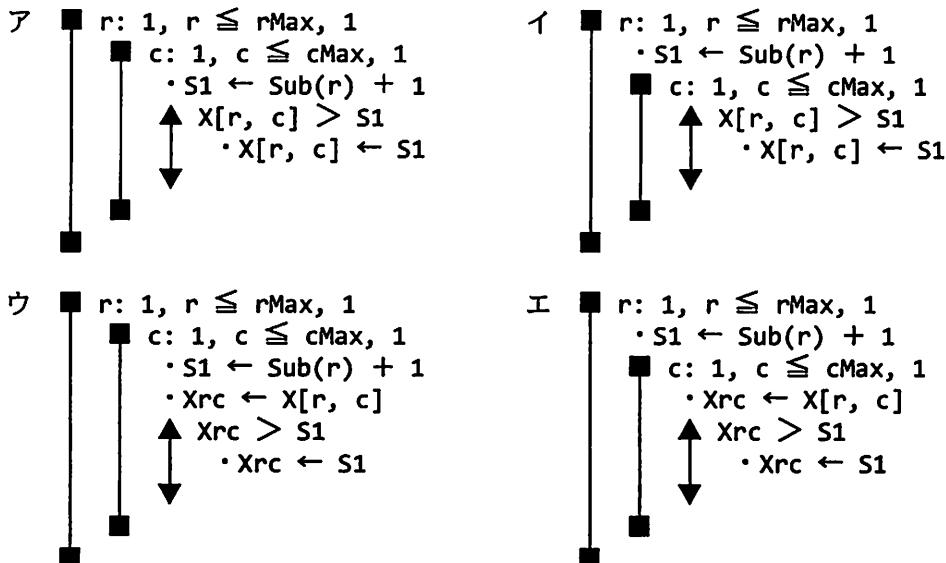
ソースコード	指摘の内容	主な品質特性 (品質副特性)
<p>○実数型: Ave, Count, Total</p> <p>  :</p> <p>  · Ave <math>\leftarrow</math> Total <math>\div</math> Count</p> <p>  :</p>	<p>左の処理を次のように変更すること。</p> <p>  :</p> <p>  ↑ Count <math>&gt;</math> 0</p> <p>  · Ave <math>\leftarrow</math> Total <math>\div</math> Count</p> <p>  ↓</p> <p>  · Ave <math>\leftarrow</math> 0</p> <p>  :</p>	a
<p>  :</p> <p>■ r: 1, r <math>\leq</math> rMax, 1</p> <p>  ■ c: 1, c <math>\leq</math> cMax, 1</p> <p>  ↑ X[r, c] <math>&gt;</math> Sub(r) + 1</p> <p>  · X[r, c] <math>\leftarrow</math> Sub(r) + 1</p> <p>  ↓</p> <p>  :</p>	<p>左の処理で、関数 Sub は計算時間は長いが、返却値は引数だけに依存する。</p> <p>次のように最適化すること。</p> <p>  :</p> <p>  b</p> <p>  :</p>	効率性 (時間効率性)
<p>  :</p> <p>/* 主記憶の動的取得 */</p> <p>  · GetMain(Addr, Len)</p> <p>  :</p> <p>/* 主記憶の動的開放 */</p> <p>  · FreeMain(Addr)</p> <p>  :</p>	<p>主記憶の動的取得と開放で、システム標準の関数を使用している。一般に、取得した範囲外や開放済の記憶域を誤って更新するなどの障害は、c。</p> <p>次のように、デバッグ機能のある社内で開発した同機能の関数を使用すること。</p> <p>  :</p> <p>  · X_GetMain(Addr, Len, ... )</p> <p>  :</p> <p>  · X_FreeMain(Addr, ... )</p> <p>  :</p>	保守性 (試験性)
<p>○整数型: P1, P2, Ans</p> <p>○整数型関数: Fn(P1, P2)</p> <p>  :</p> <p>  · Ans <math>\leftarrow</math> Fn(P1, P2)</p> <p>  :</p>	<p>このプログラムは複数の機種で汎用的に使われる。機種の違いによって d が異なることがあるので、次のように宣言の記述形式を変更すること。</p> <p>○32ビット整数型: P1, P2, Ans</p> <p>○32ビット整数型関数: Fn(P1, P2)</p> <p>  :</p>	e

設問 表2中の [ ] に入る正しい答えを、解答群の中から選べ。

a, eに関する解答群

- |              |              |            |
|--------------|--------------|------------|
| ア 移植性（環境適応性） | イ 効率性（資源効率性） | ウ 信頼性（成熟性） |
| エ 保守性（解析性）   | オ 保守性（変更性）   |            |

bに関する解答群



cに関する解答群

- ア 更新した時点で障害と分かるが、ログを記録する機能のあるOSは少ない
- イ 更新した時点で障害と分かるが、ログを記録する機能のあるハードウェアは少ない
- ウ 更新内容を後で参照したときに障害となることが多く、原因箇所の特定が困難である
- エ 取得可能な主記憶域が残っている間は、障害を検知できない

dに関する解答群

- ア 指定できる変数や関数の個数
- イ 変数や関数の型宣言で省略した場合のピット数
- ウ リンカで扱える関数のピット数
- エ ローダで扱える関数の個数